

日本のこころがこめられている 【花文字絵柄の意味・由来】

- ❖梅 … 四君子のひとつ。「歳寒三友」で厳しい冬の寒さにも負けず春が近づくと一番先に花に咲かせることから「**繁栄**」の意味があります。
そして、清らかさ、高潔、節操、清純など。
- ❖南天 … 昔から厄災を退ける力があるといわれ、「難を転ずる（難を転じて福となす）」に通じることから縁起かつぎに使われる木として親しまれてきました。
- ❖桜 … 昔から穀物の神様が宿っている**神聖な木**とされてきました。
また、古事記に登場する美しい「木花咲耶姫（このはなさくやひめ）」が霞に乗って富士山の上空から桜の種を蒔いたと言われている説があります。
咲耶姫（サクヤヒメ）のサクヤの部分をとって「桜」という名前が付けられたとも言われています。日本人の美意識の原点でもあります。
- ❖優菊 … 古来中国で菊は「翁草」「千代見草」「齡草」と言われ、邪気を祓い長生きする効果があると信じられてきました。日本でもそれを受け継ぎ、菊は特別な霊力をもつとして『重陽の節句（9月9日）』には菊を用い、邪気を祓い、長寿を願うという行事が行われてきました。
- ❖薔薇 … バラは**美の象徴**とされ、古くから**愛を伝える花**として親しまれてきました。
バラの花言葉の中には愛を伝えるのにぴったりなものが多く、好きな人に贈る花の王道といえます。
- ❖蓮 … 古代インドには、神は蓮から誕生したという神話があり、蓮は吉祥の象徴となっています。蓮の花が散ると花茎が鉢型に大きくなり、表面にたくさんの穴があいた蜂の巣のようなものができます。その穴の中に一つずつ種（実）ができます。ひとつの花にたくさんの実ができることから「**豊穰**」「**子孫繁栄**」を象徴するため、縁起のよいものとされています。
- ❖牡丹… 牡丹の花が絹のように薄い大きな花びらが幾重にも重なってまり状にまとまっているその豪華が他の植物を圧倒することから「花王」や「花神」と呼ばれ、**富裕の象徴**として、また**不老長寿**の吉祥の花として好まれてきました。
- ❖手毬 … 手毬は、女性の愛らしさを強調するものです。その丸い形から「**万事すべてまるくおさまる**」という願いがこめられています。
また、嫁ぐ娘にお守りとして手毬を持たせるとう習慣があったなど、「**魔除け**」という意味もこめられています。
- ❖鈴 … 古来より鈴には「**邪なるものを祓う力**」があると考えられてきました。ただし、「**鈴の音**」に力があります。そして「**心をひきつける**」力もあると考えられ、澄んだ清らかな鈴の音を鳴らし、神様を招きして祈願を申し上げるという合図でもあります。

*お花は実から花が咲くため、「**努力が実る**」「**人生の開花**」という意味がありますが、細かくそれぞれの花にはこのような由来や意味があります。当協会ではこのような日本の昔からの想いを大切に「こころ」を取り入れた花文字を描かせていただいております。